

## 定例プレスリリース（令和7年6月23日）

### プレスリリース事項

1. 「ケニア DAY(ディ)」の開催（共生社会課）
2. 令和7年度家事シェアチェック宣言の募集（共生社会課）
3. 劇団四季による「こころの劇場」の開催（学校教育課）
4. 山形県消防防災航空隊と酒田地区広域行政組合消防本部との連携合同訓練の実施（消防本部総務警防課）

定例プレスリリースは原則週一回、毎週月曜日に行います（月曜日が休日および祝日の場合は翌日）。次回の定例プレスリリースは令和7年6月30日（月）に行います。

#### ●プレスリリースに関するお問い合わせ

市長公室広報広聴係 池田

TEL 26-5706、FAX 26-3688

Eメール [koho@city.sakata.lg.jp](mailto:koho@city.sakata.lg.jp)

令和7年6月23日

酒田記者クラブ加盟社 各位

## 「ケニア<sup>ディ</sup>DAY」を開催します

このたび、「ケニア DAY」Africa Talk & Live —アフリカの風・大地の鼓動—を開催します。つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

### ◆ポイント

- ケニア在住経験のある方がその国の言語や風習などの文化を紹介し、市民の国際理解を深めるものです。
- 今回はケニアより、世界最大級のスラム街キベラスラムで孤児や貧困児童のための寺子屋「マゴソスクール」を運営する早川千晶氏、ケニアの伝統音楽奏者の大西匡哉氏、ケニアダンサーのKawara（かわら）氏をお招きし、ケニアのトーク&ライブを開催します。
- ケニアの文化や生活・習慣などを学び、伝統音楽やダンスを楽しみます。

○日時／6月29日（日）午後2時～4時

○場所／交流ひろば2階（中町三丁目4-5）

○内容／ケニアの文化紹介と講師との懇談、伝統音楽のライブとダンス

・アフリカの暮らしのあれこれ

・孤児救済やスラムのコミュニティとともに生きる活動 など

○講師／早川千晶氏（ケニア在住）、大西匡哉氏、Kawara（かわら）氏

○対象／定員30人

◆詳しくは別添のチラシを参照してください。

### ●お問い合わせ／

共生社会課男女共同参画・多文化共生係

担当 余語美香 今野紀生

TEL 26-5615、FAX 26-5617

Eメール kokusai@city.sakata.lg.jp



Africa Talk & Live ~アフリカの風・大地の鼓動~



# ケニアDAY

6月29日(日)

14:00~16:00

(13:30 OPEN)

アフリカ・ケニアからお届けする

今を共に生き抜くための大切なメッセージと、躍動するリズムと命の喜び溢れるアフリカ音楽

ケニアのお話



**早川千晶**(はやかわ ちあき)

ケニア在住37年。キベラスラムで「マゴソスクール」を運営。

ケニアの音楽



**大西 匡哉**(おおにし まさや)

ケニアのドゥルマ村で8年間音楽修行。伝統音楽継承者に認定。

ケニアの踊り



**Kawara**(かわら)

ケニア・ルオの人々から伝統芸能を習得。ケニアダンサー。

場 所 : 交流ひろば 2階 (酒田市中町 3-4-5)

定 員 : 30名 (要予約)

参 加 費 : 500円 (ケニア産コーヒー豆の水出しアイスコーヒー付き)

申込方法 : 6月4日(水)午前9時~6月25日(水)午後4時まで、お名前、電話番号を明記の上、メールでお申込みください。

E-mail: [kokusai@city.sakata.lg.jp](mailto:kokusai@city.sakata.lg.jp)

問い合わせ : 酒田市国際交流サロン事務局 0234-26-5615



国際交流サロン  
メールアドレス

## 講師・出演者プロフィール

### ★早川千晶（はやかわ ちあき）

ケニア在住 37 年。大学生のときに世界放浪の旅に出発。世界各国を旅し、そのまま日本に帰らずケニアに定住。社会的に不利な立場にある民族や貧困地区のコミュニティと共に活動を開始。撮影コーディネーター、ライター、通訳、「アフリカを深く知る旅」案内人。マサイ民族とドゥルマ民族の村でホームステイ&伝統文化体験のエコツアー、キベラスラムのスタディツアーなども手掛け、アフリカ理解と国際交流を促進している。

東アフリカ最大の貧困地区キベラスラムで孤児や困窮児童のための学校「マゴソスクール」、モンバサ近郊のミリティーニ村で「ジュンバ・ラ・ワトト」（子どもの家）、高校生・大学生のための奨学金グループ「マゴソ OBOG クラブ」、障害児の特別学級、スラム貧困者の生活改善支援、スラムの若者たちのエンパワーメント「MCC-Magoso Community Center」などをスラム住民のリリアン・ワガラと共同設立運営。

著書に「アフリカ日和」。2013 年在ケニア日本大使館在外公館長表彰、2015 年度第 5 回賀川賞受賞。2018 年ドゥルマ民族の伝統継承者「旗持」に就任。2021 年第 56 回社会貢献者表彰、2021 年日本版ニューズウィーク「世界に貢献する日本人 30」、2023 年令和 5 年度外務大臣表彰受賞。

### ★大西匡哉（おおにし まさや）

ケニアのドゥルマ民族の村で伝統文化継承者スワレ・マテラ・マサイ氏に師事し、8 年間に渡るケニア音楽修行を終え帰国。ドゥルマ民族の伝統打楽器「ンゴマ・ンネ」に独自の楽器を加えたセットや、アフリカンスタイルを取り入れたアコースティックギターなどで、オリジナリティ溢れるライブを展開している。2018 年ドゥルマ民族の伝統音楽センゲニヤの 14 名の旗持の 1 人として選ばれる。2024 年ドゥルマ民族の伝統儀式を受け、ソゴラ(伝統音楽継承者)として認定される。

### ★Kawara（かわら）

ケニア・ルオの人々から伝統芸能を習得。2006 年より、ケニア伝統楽器ニヤティティの奏者・アニヤンゴのユニットに所属し、ケニアダンス・コーラスを担当。日本各地にてライブやダンスワークショップ等で活動。

近年はソロ名義 aoinu で、ジャンルレス・ボーダレス・フリースタイルの活動も行う。

ケニアの奥地で、守り続け継承されていた伝統音楽で一晩中うたいおどるおじいちゃんおばあちゃんたちを直に経験した影響で、客席とステージの境目がない盆踊りのような参加型ライブや、食べたり寝たりと同じように誰の傍にも楽器が転がっている暮らしが、自身にとっての理想像。

2015 年より、Fringe〜「わたしはわたしでいい。」好きなことを表現し合い、誰しもがもつ生きづらさを分かち合う、参加・交流のプロジェクト〜を、全国の多様な人たちと共創。

## ポレポレキャラバンとは？

ポレポレキャラバンとは、ケニア在住 37 年の早川千晶さんと、ドゥルマ民族伝統継承者であるミュージシャン大西マサヤさんが開催する、日本全国ツアーのことです。スワヒリ語で「ゆっくり、のんびり」を意味する「ポレポレ」という言葉通り、楽しい音楽と、スラム街で暮らす子どもたちの話などを通して、日本各地の人々にアフリカの文化やメッセージを伝えています。ときどき各所でステキな仲間たちが登場します。アフリカンダンスや、世界をより良い場所にしていくために様々な活動をする人など、いろんな人たちとコラボする企画もあります。



ポレポレキャラバンの  
詳細はこちらから！

## 酒田市国際交流サロン



〒998-0044

酒田市中町 3 - 4 - 5（交流ひろば内）

【開館日】

（月）～（金） 9：00～16：00 ※祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く

TEL：0234-26-5615

E-mail：kokusai@city.sakata.lg.jp

令和7年6月23日

酒田記者クラブ加盟社 各位

## 令和7年度家事シェアチェック宣言を募集します

昨年度に引き続き、標記事業を実施します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

### ◆ポイント

- 家事や育児などのアンペイドワークが未だ女性に偏りがちな現状を解決するため、普段あまり振り返ることのない家事分担の状況を「見える化」し、家事シェアの実践に向けた意識啓発につなげることを狙いとして実施します。
- チェック結果をもとに話し合うことで、お互いの考えや要望を共有できるとともに、日頃の感謝を伝え合うきっかけにもなります。
- 参加した世帯の中から抽選で30世帯に、市内の家事代行サービス等提供事業所で使える「家事代行お試しクーポン12,000円分」をプレゼントします。その他、抽選で10世帯にラク家事グッズ（掃除の時短につながる洗剤などの詰め合わせ）もプレゼントします。
- 8月は本市が定めた「家事シェア推進月間」です。

○期間／7月1日（火）～8月31日（日）

○内容／自分の家庭の家事シェアの状況やその満足度について、家族やパートナーと話し合いながらスマートフォンでチェックをし、家族みんなが気持ちよく暮らせる理想の家事シェアに向けた「家事シェアチェック宣言（今後の目標など）」を行う。

### ●お問い合わせ／

共生社会課 男女共同参画推進センター・ウィズ  
担当：林

TEL 21-0826、FAX 26-5617

Eメール [kyousei@city.sakata.lg.jp](mailto:kyousei@city.sakata.lg.jp)

令和7年度

# 家事シェア チェック宣言

好評につき  
今年も  
家事代行  
お試しクーポン  
を抽選で  
プレゼント！

ここから参加！



8/31 (日) まで

※宣言内容について、市広報等で取り上げる場合があります(氏名等個人情報は公表しません)

## STEP 1

- 家族・パートナーと一緒にさまざまな家事のシェア状況とその満足度をチェック(約5分)
- 入力内容を家族・パートナーと一緒に振り返り、改善点などがないか話し合う



## STEP 2

- 話し合いをもとに、「家事シェアチェック宣言(今後の目標や改善したいことなど)」を入力する

例) 料理をパートナーに任せっきりなので、週末は夕ご飯づくりにチャレンジする！

## 参加するメリット

### ① 家庭内の役割が見える化！

家事シェア状況を「見える化」することで、お互いの負担や貢献度が明確に。不公平感が解消され、家庭内のストレス軽減につながります。

### ② 対話が生まれる！パートナーシップの向上

チェック結果をもとに話し合うことで、お互いの考え方や要望を共有できます。「ありがとう」が増え、協力し合う関係性に。

### ③ 無理なく続けるきっかけづくり

見える化された現状から具体的な目標を立てられるため、無理のない理想的なシェアを考えることができます。



参加抽選特典①

## 家事代行お試しクーポン1万2千円分

普段から利用している方はもちろん、「家事代行、興味はあるけどまだ利用したことがない」という方もお得にお試しができるチャンスです！

クーポンを利用できる事業所の情報や、昨年度の利用者の声などについては、市HPをご覧ください ⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒



参加抽選特典②

## ラク家事グッズ

クーポンの抽選に外れた世帯の中から抽選で10世帯にプレゼント！お掃除の時短・効率化に最適な洗剤などの詰め合わせです。

【問】市共生社会課 男女共同参画推進センター・ウィズ  
〒998-0044 酒田市中町3-4-5 (交流ひろば内)  
TEL : 0234-21-0826 FAX : 0234-26-5617

E-mail : kyousei@city.sakata.lg.jp

令和7年6月23日

酒田記者クラブ加盟社 各位

## 劇団四季による「こころの劇場」を開催します

このたび、劇団四季を招き「こころの劇場」を開催します。  
つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

### ◆ポイント

- 本事業は、平成21年から令和元年まで続いていた事業。
- 市内の小学6年生を、学校単位で招待。
- 上映作品「ふたりのロッセ」

### 【劇団四季より】

日本全国の子ども達を無料で劇場に招待し、演劇の感動を届けるプロジェクトが「こころの劇場」。子どもたちの心に、生命の大切さ、人を思いやる心、信じあう喜びなど、人が生きていくうえで最も大切なものを、舞台を通じて語りかけたい。そうした祈りの下、2008年に誕生した。

2021年～2022年は、生の舞台をお届けすることができませんでした。2023年度からは「こころの劇場」を全国各地劇場での児童招待を再開させていただいております。酒田市でも昨年度から再開することができました。劇場で多くの子ども達へ感動の輪を広げたいと願っております。

- 日時／7月2日（水）午後2時～4時
- 場所／希望ホール
- 対象／市内全小学校6年生
- 内容／劇団四季による観劇鑑賞
- ◆写真のみカーテンコール時のみ可能。映像は控えてください。
- ◆児童の写真や児童へのインタビューについては、相談してください。

### ●お問い合わせ先

学校教育課指導係 船越 大樹

TEL 26-5775 FAX 23-2257

E-mail : gakkyo@city.sakata.lg.jp

令和7年6月23日

酒田記者クラブ加盟社 各位

## 山形県消防防災航空隊と酒田地区広域行政組合 消防本部との連携合同訓練を実施します

このたび、山形県消防防災航空隊と酒田地区広域行政組合消防本部との連携強化を目的に訓練を実施します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願い致します。

### ◆ポイント

- 着陸できない地上を想定し後輪のみを接地、すぐに離陸できる状態で隊員を投入させる訓練を行います。
- 山岳での事案を想定し、山岳装備をした隊員を搭乗させます。

○日 時／7月3日（木）午前10時～11時30分

災害発生時または荒天時は、中止になります。

○場 所／消防本部敷地内（大町）

◆安全管理上、撮影場所を一部制限させていただく場合がございます。

### ●お問い合わせ

消防本部 総務警防課 警防係  
担 当 齊藤

TEL : 31-7124 FAX : 31-7129

Eメール : keibou@fd-sakata.jp

## 酒田地区広域行政組合消防本部・山形県消防防災航空隊連携合同訓練実施要領

- 1 目的 災害発生時における消防防災ヘリコプターを使用した消防隊と航空隊の連携要領の確認及び技術向上を訓練主眼に、相互の連携強化を図り、災害対応に万全を期することを目的とする。
- 2 実施日時 令和7年7月3日（木）9時30分から11時30分まで
- 3 実施場所 酒田市大町地内 消防本部構内
- 4 実施機関 酒田地区広域行政組合消防本部・山形県消防防災航空隊
- 5 訓練内容 (1) 力綱による機体搭乗  
(2) 山岳救助隊員の搭乗  
(3) 機内での注意点の確認

### 6 訓練進行

時間	進行内容	備考
9:30～10:00	【集合】 点検（訓練場、服装、装備） 訓練準備	
10:00～10:05	【開会式】 酒田地区広域行政組合消防本部代表挨拶 訓練説明	消防次長兼消防署長 航空隊員
10:05～10:35	【駐機訓練】（30分） ・ 隊員投入（力綱）（30分）	エンジン停止状態
10:35～10:55	【休憩・実機訓練準備】（20分）	
10:55～11:25	【実機訓練】（30分） ・ 隊員投入（力綱）（30分）	エンジン始動状態
11:20～11:30	【意見交換】（5分）	参加隊員 航空隊員

- 7 服装等 保安帽（ゴーグル）、山岳用ヘルメット（シールド可）、活動服（青）、編上靴、革手袋 ※アホロキップ不要
- 8 その他 (1) 訓練時はマスクを外すこと。  
(2) 訓練時、構内北側出入口は閉鎖。  
(3) 来庁車の停車位置は庁舎東側に誘導する。